

不思議な光の現象

うす雲

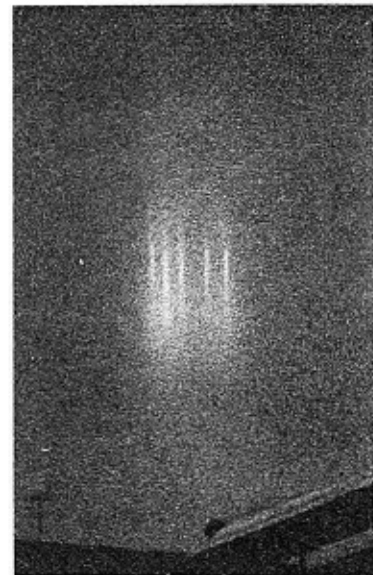
雲のなかまは10種類に分けられています。空の高い所にできる「うす雲」はそのひとつで、おもに小さな氷の結晶でできています。

太陽の光や人工の強い光がこの氷の結晶に屈折や反射されて、さまざまな不思議な光の現象が見えることがあります。

今回は、その中で光柱とサブサンを紹介します。

光柱

おもに冬の夜、富山湾の方向に光のスジが何本も見えることがあります。これは光柱とよばれているもので、うす雲の中の小さな氷で、漁船のいさり火の光が反射されてできるものです。スキー場の強い照明で光柱ができることもあります。



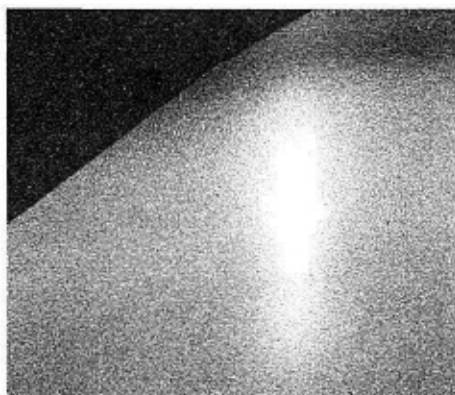
光柱

サブサン

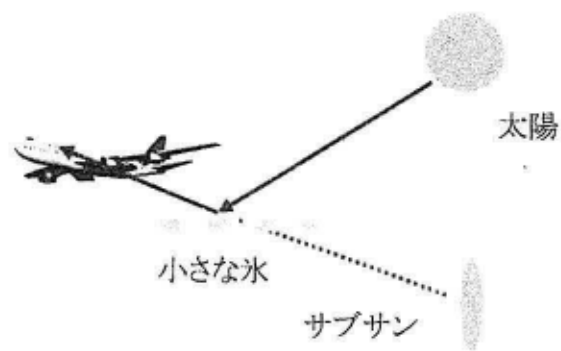
飛行機に乗っていて、うす雲の上を通る時、太陽が見える側の窓から下を見ると明るい光が見えることがあります。これは太陽の下（サブ）の太陽（サン）という意味でサブサンという名前がついています。うす雲の中の小さな氷に太陽の光が反射されてできるのは光柱と同じですが、雲の上から見ているため光柱とは反対の光源の下にできます。

みなさんも、機会があったら見つけてみてください。

(2008年11月 吉村博儀)



太陽の下に見えるサブサン



サブサンが見えるわけ